

今、高校生が考えるデジタルシティズンシップとは ーデジタルウェルビーイングな社会を目指してー

開催地：新潟

グループ： 6班

2023.08.17

ICT社会と高校生のつながりと未来

ICT機器の種類と役割

パソコン

時間のかかる作業（動画編集、資料作り、複数の画面を映す

データの大きいもの（重いゲーム、写真

仕事で使う（事務作業

タブレット

- ・危険性への認識の重さが他より軽い
- ・パソコンとスマホの中間。キーボードがないのでタイピングがしづらい
- ・ネット環境が必要

動画鑑賞

勉強（教科書などと大きさが同じで使いやすい

スマホ

- ・安価
- ・携帯ができる
- ・様々な機能があり拡張性が高い
- ・手元に置ける⇒・ずっと使ってしまう。親の監視の目が届かない

動画を見る

調べもの

ICTの利用の中で考える安全安心とは

個人情報

写真を自宅の近くで撮らない

電柱など特定できるものは写さない

残したくない情報は投稿しない

防犯

電話番号などを公開しない

むやみに相手の個人情報を聞いたり自分の個人情報を言わない

防災

災害が起きた時は個人の意見と公式アカウントの情報の両方を見る



利用方法を工夫することで自分の身を守ることに繋がるから！！

ICTの活用例と効果

- 例 翻訳アプリで読めない英語を翻訳できる
資料集やノートをタブレットに取り込める
離れたところからもつながることができる
コアな情報を知ることができる
周りでわからないことを多くの人に聞くことができる
自分のいる場所の状況を共有できる

↓効果

ICTがない時とは比べものにならないくらい便利になり、生活がしやすくなった。

社会に対してできること

1

高齢者にICTの技術を普及させたい

自分たちよりも若い世代の人たちにICTとの付き合い方を伝える

2

先生の間でタブレットの使う範囲を決めて統一してほしい

実際に見たり体験する価値がある

利用の規制を設けることでより安全に使える

3

世代によって活用方法を変える

アプリやソフトウェアを変える

